

登録コード	E2903900	開講年度	2026			
授業科目	第二言語習得論				担当教員	酒井 英樹
英文授業名	Theories of Second Language Acquisition				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・3時限	対象学生
講義室	教育N 201 講義室	授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				第二言語習得に関する現象や理論の諸概念を理解し、教室場面での学習者の英語を取り上げて、第二言語習得論の観点から考察することによって、英語の指導者として必要な教養を身に付けるようにする。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				第二言語習得に関する現象や理論の諸概念を、指導において学習者の英語学習の状況や指導方法に活用することができるようにする。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	本講義では、第二言語習得論に関する文献を購読し、第二言語習得に関する現象や理論の諸概念を解説する。また、毎回、教室場面での学習者の英語を取り上げて、第二言語習得論の観点から考察する。担当教員が中学校教員の実務経験を活かして講義を行います。					
(5)授業計画	第 1 回：ガイダンス 第 2 回：第二言語習得の基本概念（第二言語習得、対照言語学、誤り分析） 第 3 回：第二言語習得過程（文法形態素、統語構造） 第 4 回：第二言語習得の理論（モニターモデル） 第 5 回：第二言語習得の理論（処理可能性理論）（遠隔等） 第 6 回：定型表現の習得 第 7 回：第二言語習得の理論（用法基盤理論、二重コードモデル） 第 8 回：インプットの役割（インプット・インテイク、肯定証拠・否定証拠） 第 9 回：第二言語習得の理論（普遍文法に基づく第二言語習得研究）（遠隔） 第10 回：気づきの役割（理解可能なインプット、気づき、気づきの種類） 第11回：第二言語習得に関する理論（インタラクショニスト・モデル、インタラクシオン仮説） 第12回：第二言語習得に関する理論（創発主義アプローチ） 第13回：教室場面の学習者の英語の分析レポートの発表 第14回：定期試験・授業アンケート実施 教育実習による欠席の補講については、授業記録の視聴及びレポートにより対応する。 【遠隔等】は遠隔授業を指します。非同期型のオンライン授業を二回実施する予定。					
(6)成績評価の方法	・基本的な現象や概念に関する最終試験（80%）、学習者の英語の学びを評価し英語教育への応用を検討することの評価のための教室場面の学習者の英語の分析のレポートと発表（20%） ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	「卓越している」：第二言語習得に関する現象や理論の諸概念を正確に理解し説明しており、教室場面での学習者の英語の学びを適切に考察している。 「かなり上である」：第二言語習得に関する現象や理論の諸概念の多くを正確に理解し説明しており、教室場面での学習者の英語の学びを適切に考察している。 「やや上にある」：第二言語習得に関する現象や理論の諸概念のいくつかを正確に理解し説明しており、教室場面での学習者の英語の学びを考察している。 「水準にある」：第二言語習得に関する現象や理論の諸概念をだいたい理解し説明しており、教室場面での学習者の英語の学びを考察しようとしている。					
(8)事前事後学習の内容	・教科書を読み、授業に臨むこと。 ・授業や教科書で扱った概念の点から、学習者の英語使用や知識を分析すること。 ・学習者言語の分析を行うこと。 ・この授業は 90 時間の学修を必要とする内容です。従って、60 時間以上の時間外学習が必要となります。					
(9)履修上の注意	・本講義は、英語で行うこともある。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	・随時、質問、相談に応じる（sakaih@shinshu-u.ac.jp）。					
【教科書】	・酒井英樹・廣森友人・吉田達弘編著（2018）.『「学ぶ・教える・考える」ための実践的英語科教育法』大修館書店 2,640円					

【参考文献】	・ 随時授業中紹介する。
--------	--------------